

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービスこまち

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		みんなの笑顔があふれるこまち									
支援方針		生活訓練の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。									
営業時間		平日	9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
営業時間		土・祝	9 時	00 分	から	18 時	00 分	まで			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	基本的な生活リズムの安定を図ります。児童自身が生活行為を安心して行えるよう、個別支援・個別対応を心がけて対応します。 また精神面の安定を重視し、学校や家庭での悩み事について対応します。状況の整理を行い、解決策の見通しを一緒に考えることによって、精神面の安定へとつなげます。									
	運動・感覚	日々の生活の中で、遊びや療育活動を通して、身体機能の維持・向上、一人一人が兼ね備えている五感を育みます。遊びに動きを取り入れることによって、身体能力や体力の向上をはかります。また集団で行う場合であっても、職員が個別で対応することによって、児童の感覚の偏りに配慮した対応を行います。									
	認知・行動	時間の認知形成をはかれるよう、1日の時間帯別活動と一緒に確認します。その上で、学校の提出課題の確認や、提出までの計画立てを職員と一緒に整理し、時間管理や提出物管理の仕方などを学びます。 また四季折々にちなんだ行事やイベントを実施することで、雰囲気を感じ、理解する支援を行っていきます。									
	言語 コミュニケーション	家庭、学校との連携を図りながら、それぞれの児童に合わせたコミュニケーションで相互理解を図ります。また言葉だけでなく、絵カードやジェスチャーなども使いながら、お互いの信頼関係を築きます。									
	人間関係 社会性	プログラムを通して、他者と関わる機会を得ることで、信頼関係を築けるよう支援を行います。児童の特性に合わせて、一人遊びから協同遊びを取り入れ、手段やルールを都度確認することで、社会性を身につけられるよう支援していきます。									
家族支援		事業所での支援内容や様子をご家族と毎回共有することで、より良い支援に繋がられるよう心がけています。また、SNSを通して、普段の児童の様子を共有しています。							移行支援	主に、高校卒業後の進路について、ご家族や学校、支援事業所と連携を図り、児童に合わせた支援を行っています。	
地域支援・地域連携		送迎時などを通して、各学校と日々の様子を共有し連携を取っています。また必要に応じて、担当教員等と相談する機会を持ち、より良い支援方法を検討しています。							職員の質の向上	・職員研修（月1回程度実施） ・必要に応じて外部研修を受講 ・資格取得	
主な行事等		・運動療育、工作活動、クッキング活動、音楽療育など ・外出イベント（公園レクリエーション、プール、芋ほり、水族館、動物園、お買い物 等）									